

日本の新聞に取り上げられる科学論文の傾向について

—医学論文を中心に—

大谷 裕 (東邦大学医学メディアセンター)

I. 目的

本研究の目的は、マスメディアが科学技術の進展や成果について、どのような情報を選択し、広く一般に伝えているか、新聞を調査媒体として、その傾向を明らかにすることである。なお新聞で報道される科学技術の情報には、科学論文に発表された業績を伝えるものと、特定のテーマについての解説があるが、本研究では前者を対象とする。

II. 先行研究

新聞の科学記事についての分析は、主に2つに大別される。新聞に掲載された科学記事そのものを分析対象とするものと、一次情報が新聞に掲載される経過について焦点をあて、新聞の記事選択について分析を行うものである。

日本の新聞を研究対象とした場合、前者についてはいくつか報告が見られるが、後者についてはあまり見られない。海外ではBartlettらがイギリスの医学雑誌Lancet誌とBMJ誌に1999年から2000年にかけて掲載された原著論文について、出版社がプレスリリースした論文と、一般紙であるTimes紙、タブロイド紙のSun紙で報道された論文との相関について分析している[1]。

III. 調査事項

本研究では、先行研究を参考に下記2点について調査を行った。

(1) 全体の傾向調査

新聞で報道された科学論文の主題分野、掲載誌、著者所属機関の分析

(2) プレスリリースとの相関調査

大学・研究機関等でプレスリリースされた論文と新聞で報道された論文の比較

IV. 調査対象

朝日新聞記事データベース「聞蔵 II ビジュアル」及び読売新聞記事データベース「ヨミダス文書館」を用い、2003年1月1日から2008年12月31日分までの6年間の朝刊、夕刊の全国版で報道された科学論文を調査対象とした。

[1] Bartlett C, Sterne J, Egger M. What is newsworthy? Longitudinal study of the reporting of medical research in two British newspapers. BMJ.vol.325, no.7355, 2002. p.81-84.